

## ○プログラム（コース）名：消化器内科専門医コース

## ○プログラムの概要

消化器内科は、消化管（上部・下部）、肝、胆、膵の領域にさらに再分化され、また、内視鏡検査、超音波検査、造影検査など検査、治療に係る領域は広範です。このプログラムは、すべての領域の先端診療をくまなく経験し、一般病院において消化器内科専門医として診療ができるドクターを養成することを目的としています。

## ○年度ごとの研修内容

1、2年目	病棟勤務（4ヶ月毎に、消化管G、肝臓G、胆膵Gを経験） 外来勤務（上部内視鏡検査、腹部超音波検査は必須、希望により下部消化管検査、ERCP、血管造影の参加は自由） 総合診療科研修
3、4年目	関連病院での研修 （消化器内科1年、一般内科1年または消化器内科2年）
5、6年目	各専門領域における特殊検査・治療手技の習得

## ○週間スケジュール（例）

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
午前	上部内視鏡	教授回診	外勤	超音波	外勤	
午後			大腸内視鏡			
		カンファレンス				

空白は病棟勤務中心だが、自主的な特殊検査の研修が可能

## ○取得できる資格：

日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本超音波医学会専門医、日本肝臓学会専門医など

## ○プログラム終了の評価・認定方法

上記の学会専門医の取得をもってプログラム終了と認定

## ○処遇、待遇

初期の3年間は東京医科大学病院後期研修医の待遇に準じます（保険など）  
ただし、週に1日分の院外勤務と院外当直が可能で、その給与が加算されます。

## ○その他

消化器内科を専門として、将来、一般病院で専門医として十分に診療できる実力をつけるためのプログラムで、従来の消化器内科の医局員の教育プログラムに準じています。消化器領域の基本的な手技から各領域の先端医療まで、より専門性の高い診療につながる研修内容となっています。また、大学病院での研修であり、臨床研究、学会発表などの学術参加は適宜可能です。